

相馬市チーム3回戦進出

市町村対抗軟式野球大会

第15回市町村対抗福島県軟式野球大会相馬市チームの初戦は9月11日、小野あぶくま



球場（小野町）で行われ、西会津町チームと対戦しました。試合は初回1、2番のフオアボールから4番佐藤淳平選手のリフト前ヒットで2点先制。その後も追加点を重ね、6対0で勝利しました。

2回戦は不戦勝となり、3回戦は9月20日、同球場で郡山市チームと対戦。

試合は3点を追いかける苦しい展開となり、0対5で敗れました。

来年はベスト8以上に進めるよう、皆さんの応援をお願いします。

百歳おめでとう 岩崎ハナさん



百歳を迎えた岩崎ハナさん（中村）への賀寿贈呈は9月24日、ベテランズサークルで行われ、ハナさんに記念品などが手渡されました。

災害から身を守る 大野幼稚園・小学 校避難訓練



大野幼稚園・小学校避難訓練は9月13日、同幼稚園・小学校の園児、児童合わせて168人を対象に行われました。

地震などの災害時に、安全かつ迅速に避難できること、防災意識の向上を高め、訓練を日常生活に生かすことを目的に、相馬消防署の署員を招いて実施。

地震により校舎倒壊の可能性があることを想定した避難訓練のほか、煙の充満した部屋に実際に入るスモーク体験などが行われ、児童らは災害時の避難行動を確認しました。

コミカルな演奏を楽しむ そうま音楽夢工房童謡オペラ

そうま音楽夢工房第69回演奏会「童謡オペラ〜本気の童謡コンサート〜」は9月18日、市民会館で開催され、市民ら約110人が鑑賞しました。

童謡オペラは、日本の童謡にオリジナルストーリーを追加してコミカルなオペラとして上演している団体で、関東地方を中心に幅広く活動しています。

オペラ歌手の花江愛伝さんと木村雄太さん、フルート奏者の佐々木華さん、ピアノ奏者の中村舞香さんが出演。



ピアノの伴奏に合わせ、E・エルガー作曲の「愛の挨拶」、G・ロッシニ二作曲の歌劇セビリアの理髪師より「私の町の何でも屋」、F・シヨパンの「幻想即興曲」などのクラシックのほか、「いぬのおまわりさん」、「さびしいカシの木」、山田耕筰作曲の「赤とんぼ」などの日本の童謡を中心とした楽曲が披露され、訪れた市民らは、オペラ歌手らが本気で面白おかしく演奏する童謡に大きな拍手を送りました。

福島県沖地震の支援 東北電力ネットワークとユアテック

9月21日、目黒桂一東北電力ネットワーク株式会社相双電力センター所長と福田孝之株式会社ユアテック相双営業所所長ら5人が市役所を訪れ、立谷市長にLED街路灯（防犯灯）提供に関する目録を手渡しました。

両社は、2月13日に発生した福島県沖を震源とした地震により被害を受けた地域の日も早い復旧を願い、寄付を行ったもの。

立谷市長は「寄付ありがとうございます。街路が明るく

福島県沖地震の支援

自治労連福島県本部

なり市民も喜ぶと思います」と感謝の言葉を述べました。



自治労連福島県本部

自治労連福島県本部による寄付は9月29日、市役所で行われ、笠原浩同本部中央執行委員長と佐藤興一同書記長が訪れました。

寄付は、2月13日に発生した福島県沖地震により被害を受けた地域の復旧支援として、全国の自治労連組合員から寄せられたもの。

阿部勝弘副市長は「市の復旧事業などに活用します」と感謝の言葉を述べました。

子どもたちに鉛筆を寄贈

第一生命保険

第一生命保険株式会社による寄贈は9月22日、市役所で行われ、長塚順子同社福島支所相双営業オフィス長ら2人が訪れました。

復興のメッセージを伝えることを目的に、東日本大震災から復興した会社で製造したひのきの鉛筆を子どもたちに寄贈するもの。

鉛筆を受け取った福地憲司教育長は「ひのきの香りに感じながら鉛筆を大切に使うよう、子どもたちに指導します」と感謝の言葉を述べました。



復旧農地で相馬の魅力伝える

相馬田んぼアート展

相馬田んぼアート展は9月24日、LVMH子どもアート・メゾンで開催されました。復旧農地に描く田んぼアートの活動などで相馬の魅力を伝えることを目的に、相馬田んぼアートプロジェクトの主催。



これまでの活動の様子を収めた約100枚の写真の展示のほか、プラスチック板でキーホルダーを制作するワークショップが行われました。

中村城跡の魅力伝える

ふくしまの城・城址巡り記念講演会

ふくしまの城・城址巡り「相馬中村城」記念講演会は9月26日、総合福祉センター（はまなす館）で開催され、市内外から約90人が参加しました。

10月2日、3日開催のふくしまの城・城址巡りの一環として、相馬中村城の未来を考える会の主催。

講師の北野博司東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科教授が中村城の成り立ちや特徴などを説明し、訪れた人たちに中村城跡の魅力を伝えま



夫婦で乗り越えた50年

市金婚を祝う会

市金婚を祝う会は9月30日、総合福祉センター（はまなす館）で開かれ、結婚50年を迎えた夫婦31組が出席しました。立谷市長は「50年間、いろいろなことを夫婦で乗り越えてこられた。どうぞこれからも人生の先輩として、我々の模範となって指導ください」とあいさつ。

代表の大谷英男さん、信子さん夫婦に祝い状と記念品が手渡されたほか、立谷市長が招待者席を回り、一組一組に

祝い状などを贈りました。



事故なしキャンペーン

交通事故防止街頭啓発

交通事故防止街頭啓発活動は9月30日、ショッピングタウンベガ・イオン相馬店で行われ、関係者15人が参加しました。

秋の全国交通安全運動に併せて実施され、市交通対策協議会と相馬地区交通安全協会が主催。

交通事故なしを願い、訪れた買い物客に相馬産のナシや夜光反射材などを配布しました。



避難所運営を学ぶ 向陽中避難訓練

向陽中学校避難訓練は10月1日、同校1学年103人を対象に行われました。

自分の命を自分で守る「自助」に加え、協働して命を守る「共助」の意識を育むことを目的に、災害発生時の避難所運営を想定して実施。

訓練は、青少年赤十字福島県指導者研修会と併せて行われ、生徒たちは避難者役の生徒から持病や体調などを聞き取り、高齢などの状況に合わせた部屋に案内したほか、余震発生時の避難者支援の方法などを学びました。



給食で魚を食べよう 中村一小

中村第一小学校は10月4日、全校児童343人を対象に、愛媛県宇和島産のマダイを使った給食の提供を行いました。

近年の魚食離れを受け、魚食の普及活動の一環として市内全ての小・中学校で実施。

当日は、同校5年生64人を対象としたオンライン授業が併せて行われ、児童らは宇和島市の漁師からマダイ養殖の説明を受けたあと、給食のマダイのマヨネーズ焼きをおいしそうに食べていました。



クロマツなどを植樹

相双五城信用組合

相双五城信用組合による植樹は10月2日、松川浦パークゴルフ場で行われ、関係者約100人が参加しました。

植樹は同組合の創立70周年記念の一環として、東日本大震災の津波で流出した防風林などの緑化回復を目的に実施。

梅沢国夫同組合理事長と立谷市長のあいさつのもと、敷地内にクロマツ1本、ヒサカキとトベラの苗木各100本が植樹されました。



看護の道への決意新たに 相馬看護専門学校戴帽式



相馬看護専門学校戴帽式は10月7日、同校体育館で行われ、21期生38人が看護師としての新たな一歩を踏み出しました。

戴帽式は、看護学生が看護への認識や決意を新たにす誓いの儀式で、戴帽生は一人ずつ登壇してナースキャップを被せてもらい、ナイチンゲール像のキャンドルから自分のキャンドルに火を灯し、整列したあと、全員でナイチンゲール誓詞を唱和しました。
高山純校長が「ナイチン

ゲールの精神を胸に、人の痛み、苦しみ、不安に寄り添える看護師になつてください」と式辞。

門馬和夫管理者の告辞のあと、看護学科3年生代表の関口巧輝さんの励ましのことばに続き、戴帽生代表の高橋瑠羅さんが「決意を新たに、同じ夢を持つ仲間とともに困難を乗り越えていきたい。ナースキャップの重みを受け止め、明るい笑顔で患者さんを支える看護師を目指し精進します」と誓いのことばを述べました。



かつての美しい姿を取り戻す 大手門復旧工事中間検査



中村城跡外大手・一ノ門(大手門)は10月7日、災害復旧

工事の中間検査を行い、白い漆喰(しっくい)に化粧された姿を表しました。

同門は、2月13日発生の福島県沖地震により、袖柱がゆがみ倒壊の恐れがあったため、市は通行を規制。7月24日開催の相馬野馬追に併せて一時通行を再開したあと、雨水などで壊れた漆喰の復旧工事も並行し、本格的な修繕を行っています。

市職員が大手門の瓦に塗布された漆喰の状態などを確認しました。

科学の不思議に触れる

10月9日、図書館で開催中の企画展示「子ども科学フェスティバルに行こう!」に親子連れなどが訪れました。

同企画展示は、10月31日開催の「2021相馬子ども科学フェスティバル」にちなみ、理科や科学の入門編となる本を展示したものです。

子どもたちは、それぞれ興味のある絵本などを手に取り、科学の不思議に触れました。

※開催期間は11月29日まで。



図書館企画展示

火災に備えて 日立木幼稚園・ 小学校避難訓練



日立木幼稚園・小学校の避難訓練は10月11日、同幼稚園・小学校の園児、児童合わせて98人を対象に行われました。

訓練は、園児や児童が火災から安全かつ速やかに避難するための方法や経路を学ぶために実施。

火災発生時の校内放送が流れたあと、園児らは教師の指示に従い、一斉に校庭に避難しました。